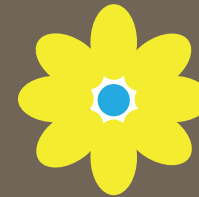
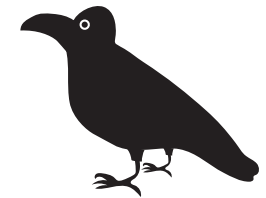


# それ、思い込みですよ

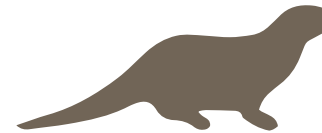
そのうわさ ウソ? ホント?



外国から来たきれいなお花  
いっぱいになあれ!



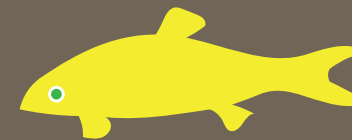
カラスは悪者?



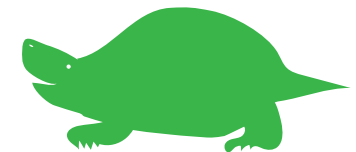
芥川でカワウソを見ました



ハデなキノコは毒がある?



芥川って魚、減ってるよね?



飼えなくなったペットは  
外に放したほうが幸せ?

## それ、思い込みですよ

編集：あくあびあ芥川共同活動体  
発行：高槻市教育委員会  
印刷：株式会社プリントパック

ほんとうは  
どうなの?!



高槻市立自然博物館



〒569-1042 高槻市南平台5丁目59番1号  
TEL=072-692-5041 FAX=072-692-7864 E-mail=info@aquapia.net

あくあびあブログ ▶ <http://www.omnh.net/aquapia/>

あくあびあ

検索

高槻市立自然博物館 あくあびあ芥川

やさしさからの「思い込み」・・・2  
 知らないからの「思い込み」・・・10  
 記憶からの「思い込み」・・・18  
 うわさのあれこれ ウソ?ホント?・・・26  
 みんなのうわさ ウソ?ホント?・・・31

はじめに

「野鳥のヒナが巣から落ちているので、ひろっていいですか?」「飼えなくなったカメを芥川に放していいですか?」これらは、あくあぴあに寄せられる問い合わせの一例です。あなたならどうしますか?

こうした問い合わせや来館者のふとしたつぶやき、来館者とスタッフとの会話などから、自然に対する間違った思い込みが意外と多いことがわかりました。生き物や自然に対する思い込みは誰にでもあるものですが、事実を知ることによって人間と自然の関係がもっと良くなることでしょう。

この冊子では、自然に対する思い込みと、それに関する情報をまとめました。身近な自然に目を向けていただけるきっかけになれば幸いです。あくあぴあは来館者や地域の人々と、その声を大切にしたいと思っています。

2017年1月 館長 山本忠雄

付記：本書の作成にあたっては、高槻市立自然博物館（あくあぴあ芥川）五月女草子学芸員が主担当となり、高田みちよ主任学芸員・中村知恵学芸員・秀瀬みのり学芸員・花崎勝司主任研究員・中谷憲一研究員が分担執筆しました。ご協力いただきました大阪市立自然史博物館 佐久間大輔主任学芸員・NPO法人日本バードレスキュー協会 村濱史郎理事長・NPO法人大阪自然史センター 山中亜希子さんにお礼申し上げます。

写真提供：佐久間大輔・中谷憲一・花崎勝司・村濱史郎

イラスト：五月女草子・西澤真樹子

構成：山下和子

CASE ①

やさしさからの「思い込み」

落ちていた鳥のヒナをひろうのはいいことだよね??

1 2 3

うららかな はるの白・・・

あっ! 鳥のヒナが落ちてる!

そっとひろって たす 助けてあげよう♡

いいことだよね??

次のページへ

落ちていたヒナは  
拾わなくて大丈夫。  
親鳥は近くで見ている  
ちゃんと子育てします。  
人間が関わらないほうが  
幸せなことが、自然界  
にはあります。

あくあぴあはこう考えます

.....

## 近くで親鳥が見ています

毎年、春から初夏にかけては野鳥の子育ての季節です。そんな時期に野鳥のヒナが道に落ちていたら、拾って帰って育ててあげたいと思うのが自然な気持ちでしょう。でも、ちょっと待って。親鳥は近くで見えています。人間がいるからヒナに近づけないだけかもしれません。落ちていたヒナを見つけたら、そっとその場を立ち去りましょう。



ヒヨドリのヒナ（撮影：村濱史郎氏）  
※写真は誤って保護されたヒナです。



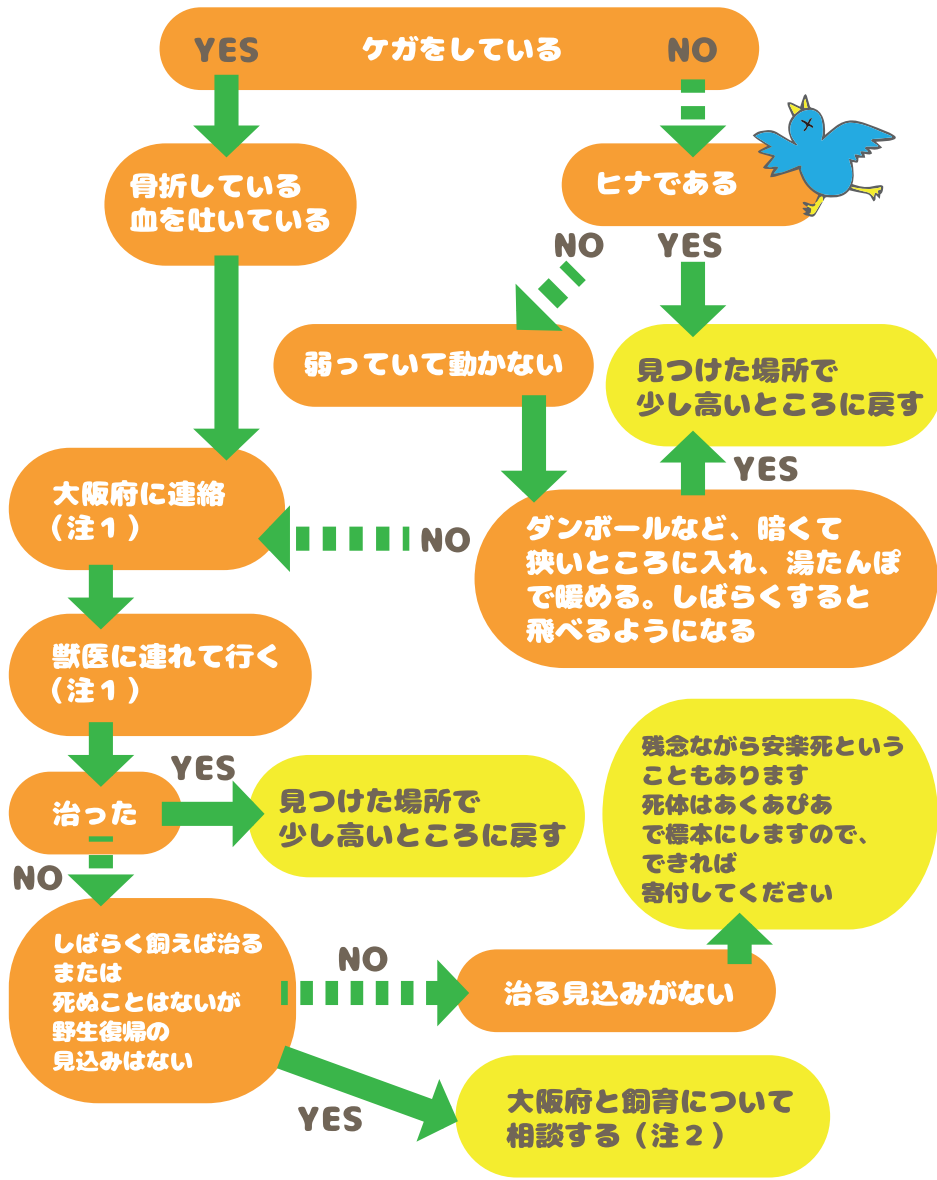
スズメのヒナ  
（撮影：村濱史郎氏）

## 野鳥のヒナを見つけたら

公益財団法人日本野鳥の会では、春頃、同様の質問を多く受けています。同会のホームページに掲載されている情報を紹介します。

- Q ヒナを見つけたときは、どうしたらよいのでしょうか？
- A 巣立ち直後のヒナはあまり動きません。親鳥は人がヒナの近くにいると警戒して近づけないので、その場を去る方がよいでしょう。
- Q ネコやカラスに食べられないでしょうか？
- A 心配でしたら、ヒナを近くの茂みの中に移しましょう。親鳥は姿が見えなくても、ヒナの声で気づくことができます
- Q 人がヒナを育てることはできますか？
- A たくさんの虫を与え続けるなどすれば、育てられることもあります。ただ、自然界では巣立ち後に親鳥と過ごすわずかな期間(1週間から1か月)に「何が食べ物で、何が危険か」などを学習してひとり立ちするので、人間によって育てられたヒナが自然の中で生きていけるとは限りません。

## 弱っている鳥を見つけたら



注1：大阪府環境農林水産部動物愛護畜産課 野生動物グループ (06-6210-9619)「野生鳥獣救護ドクター」を紹介してもらえます。  
注2：傷病鳥獣野生保護飼養ボランティアという制度があります。

CASE ②

やさしさからの「思い込み」

## ペットを自然にかえすのは いいことだよね??

ながねんつ  
長年連れそった  
いと  
愛しのカメ吉

こどものとき  
えんにち  
縁日で釣ったのが  
であ  
出会い

1 2  
3

おお  
こんなに大きくなって  
か  
もう飼えないや

いいことだよね??

次のページへ

あくたがわ はな  
芥川に放したほうが  
きち しあわ  
カメ吉も幸せだろう!



**ペットを野外に  
放してはいけません！  
放されたペットは  
幸せになりません。  
そのせいで自然環境が変化  
するなど、人間が困ること  
にもつながります。**

**あくあぴあはこう考えます**

.....

## **放されたペットはどうなる？**

飼いきれなくなったペット。自然に放したら幸せになるだろうと考えてしまうのは、きっとやさしさからでしょう。でも本当に幸せになるのでしょうか。今までエサを「与えられてきた」ペットが、自分でエサを「探して食べる」ことはできるでしょうか。誤ったものを食べて病気になったり、餓死してしまうこともあります。また外国からやってきたペットの中には、日本の気候や環境に適應できず死んでしまうものもあります。

## **適應してしまうペット、その先は？**

外国からやってきたペットの中には、日本の環境に適應して生き延びるものがあります。その中には、ワニガメやカミツキガメのように噛まれたら大けがをするほど危険なものもあります。

また繁殖して、どんどん数が増えて大きな問題になっている生き物もあります。縁日などで「ミドリガメ」として売られるミシシippアカミガメは、その良い例です。ほかのカメの卵を食べたり、水草などを食べてしまうのです。少数なら問題はないかもしれませんが、どんどん増えたらどうなるでしょうか。

外国からやってきた生き物が増えると、もともと日本にいた生き物とエサや棲みかを奪い合ったり、日本にしかない植物・動物などを食べてしまうことで環境が変わることが考えられます。環境が変わると自然のバランスが崩れ、将来的に私たち人間も住みづらくなる恐れがあります。



## 飼う前にかんがえよう



生き物を飼うことは大切な命を預かることです。ペットを飼う前には、次のようなことをじゅうぶんに検討してから。責任をもった上で、ペットとの素敵な時間をすごしてほしいと願っています。

- どのくらいの期間生きるのか
- どのくらい大きくなるのか
- どのくらいの設備が必要か
- なにを食べるのか
- 以上をふまえて、ペットが死ぬまで自分で責任もって飼えるか

### あくあぴあではペットの引き取りはしません

ペットとして飼っていたカメや魚などの生き物を「引き取ってほしい」という問い合わせがたくさん来ます。しかし、これらの問い合わせにはすべてお断りしています。その理由は・・・

- 高槻の自然を調査・研究している博物館で、生き物の預かり施設ではないため。またそのためのスペースもありません。
- 採集場所や採集時期が分からない生き物は、研究することができず、博物館の資料にならないため。
- ペットなど、長期間飼育された生き物の研究はしていないため。

### 公園からハリネズミ?!

今城塚古代歴史館から、「ハリネズミの死体を拾ったが、どう処分したらいいのかわからない」と連絡をもらいました。古墳公園で拾ったそうです。死んだあとに捨てたのか、捨てられた後に死んだのかはわかりません。安易にペットを買い、飼えなくなって捨てる、という人間の行為が、かわいそうな生き物と外来種問題を生んでいます。

CASE  
①

知らないからの「思い込み」

## カラスは悪者!! まちがってないよね??



1 2  
3

カラス悪(わる)いやつ!  
くじょ 駆除(くじょ)すべき!



まちがってないよね?



次のページへ

**人間もカラスも  
そしてほかの生き物も、  
同じ場所をシェアして  
くらしています。  
わたしたちが工夫して行動を  
変えたら、カラスは悪者  
でなくなるかもしれ  
ません。**

**あくあぴあはこう考えます**

.....



## カラスの食べもの



ゴミをあさったり、人間を攻撃したりして、嫌われることの多いカラス。死体や墓場のイメージもつきまといまいます。だからってカラスは悪者でしょうか？

自然の中には様々な生き物がいます。他の生き物を狩りして食べる動物がいる一方、死体を専門に食べる生き物もいます。カラスもその一員。死体を食べる動物がいなければ、世の中に死体がたまってしまいます。いわば自然界の掃除屋さんなのです。カラス以外にも、トビなどのワシタカ類も死体を食べます。

しかし都会には、あまり動物の死体がありません。その代わりに、生ゴミがたくさん出ます。家庭から出る生ゴミの中には肉や魚、揚げ物などの残飯が入っており、とても栄養価が高く、都会のカラスたちにとってごちそうです。また死体から栄養価の高い内臓をつつきだして食べるカラスにとっては、ゴミ袋から残飯をつつきだすことは得意中の得意。おいしいエサがたくさんあるので、都会のカラスはわりと優雅な生活を送っています。



## 人間も工夫してお互いハッピー



とはいっても、ゴミを荒らされるのも威嚇されるのも困る、となれば、カラスの数を減らしたいと考えるのもわかります。ただ、東京都などでは駆除を行っていますが、殺処分ではほとんど効果がないことがわかっています。

効果があるのはゴミの出し方。収集時間の直前に出す、カラスよけのネットを使うなど、ゴミを食べられない工夫をすることが一番です。

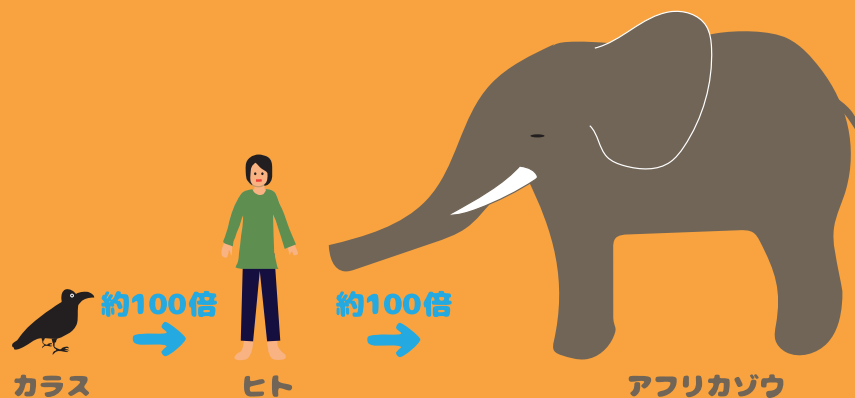
## 人間を襲うのにはツケがある

都会のカラスたちは、人間の家のすぐ近くに巣をつくります。子育て中のカラスにとって、巣のすぐ近くを出入りする人間は、とても気になる存在です。特に、まだ飛べない子ガラスにとって、人間は恐ろしい動物です。カラスの体重は600gぐらい。一方、人間はその100倍もあります。カラスにとって、人間は超巨大な動物なのです。そんな恐ろしい動物が、巣のまわりをうろうろしたら、親ガラスは気が気じゃありません。

当然、親ガラスは巣や子どもに近寄る人間に威嚇します。最初は激しくカアカア鳴きます。すぐに立ち退けばいいのですが、気付かないと、どんどん鳴き声が大きく激しくなります。そして、我慢できなくなると人間の背後から後頭部を足で蹴ったり、近くを飛んだり威嚇します。この時、鋭いツメで引っかかるなど、ちょっとした怪我をすることはあるようですが、大怪我になることはほとんどありません。カラスが怒っていることに気が付けば、お互い衝突せずにすみます。

100倍って  
どれくらい？

カラスの体重は約600gなので、人間はカラスの約100倍です。人間から見て約100倍とは、約60Kgの人ならば、陸生哺乳類で最も巨大な植物食動物のアフリカゾウ(5~7トン)です。



CASE  
②

知らないからの「思い込み」

# ハチはあぶない！！ まちがってないよね??



1 2  
3



まちがってないよね?



次のページへ

すべてのハチが  
危険なわけではありません。  
生き物や自然のこと、  
知ったらきっと怖さも  
少なくなります。

あくあぴあはこう考えます

.....



## ハチはなぜ刺すか？



自分たちの巣を守るためです。スズメバチやミツバチのように社会性のあるハチ<sup>(注1)</sup>は、大きな集団が巣を作り生活します。巣の中にはたくさんのハチの幼虫や、冬越しのために蓄えた大量の蜜があります。つまり、大きなハチの巣は栄養の塊のようなものです。そのため、ハチの巣を狙う生き物がたくさんいます。幼虫や蜂蜜が大好きなクマやイノシシ、ハチクマ、それに私たち人間も、ハチの天敵でしょう。

そうした天敵から幼虫や女王を守らなければなりません。その防衛手段としてハチが手に入れた武器が、強力な大アゴと毒針です。

(注1)社会性のあるハチ  
スズメバチやミツバチ、アリなどの働きバチ・働きアリは「不妊のカースト」と呼ばれ、自分  
は子孫を残さず、母や姉妹の繁殖を助けます。不妊のカーストの存在する集団は真社会性と呼ばれます。



## オスは刺さない！



ハチの毒針は産卵管(卵を産む管)が変化したものなので、オスには毒針がありません。オスのハチは他の巣の女王と交尾して次世代を残すのが役割です。傷ついたり死んだりしては元も子もありませんので、働いたり戦ったりしません。噛む力が弱いので、大アゴもたいした力はありません。



オス



メス

セグロアシナガバチ (メスが刺します)  
※オスとメス、アゴの大きさを比べてみてください。

## すべてのハチが刺すわけではない

ひとくちに「ハチ」と言っても、その暮らし方はさまざま。ハチの生態を知ったら、むやみに怖がらなくてよくなるかもしれません。

### 人間を刺すのはごく一部 寄生バチ

昆虫やクモの体内または体表に産卵し、かえったハチの幼虫が昆虫やクモに寄生して育つのが寄生バチです。ヒメバチ科のように長い産卵管をもつものがありますが、おそらく人間を刺すことはないでしょう。なかにはシバンムシアリガタバチのように体長2mmぐらいの小さい寄生バチでも人間を刺し、痛みや痒みをおこすものがあります。



ヒメバチの一種

オナガコバチの一種

### 握りしめたら 刺すかもしれないハチ

クモバチ科、アナバチ科、ドロバチ科などのハチは、見た目がスズメバチに似ていますが、警戒しないでいいグループです。昆虫やクモを毒針で麻痺させ、巣穴に運び込んで幼虫の餌にするという行動を、メスが単独で行うのが特徴です。スズメバチのような社会性の狩りバチと違って、命がけで巣を守る必要がないので、襲ってくることはありません。それでも毒針は持っていますから、手でつかむと刺されることがあります。



スズバチ

ミカドトックリバチ

### ハチの姿のハエ

ハナアブやメバエの仲間など、ハチに似ているハエがあります。これらのハエに毒はなく刺しませんが、毒針のあるハチのふりをして天敵などから襲われにくくしているのだらうと考えられています。



シマアシブトハナアブ

ツマグロコシボリハナアブ

### 刺さないハチ

ハバチ類は、刺すようないわゆる「針」は持っていないので、刺しません。葉っぱを裂き、そこに卵を産むので、産卵管はペーパーナイフのような形をしています。



ルリチュウレンジ

チャイロハバチ

CASE ①

記憶からの「思い込み」

## 芥川の魚が減っている ほんとうはどうなの？

あくたがわ  
芥川って  
さかな減っとるんじゃろ？



ワシが子どもの頃は  
ようけ  
おったもんじゃ

1 2  
3

あくたがわ  
芥川って  
さかな減っとるん  
じゃろ？



ほんとうはどうなの？



次のページへ



過去の「記憶」と  
現在の「感じ」は、  
あくまでも感覚的なもの。  
生き物の増減は、過去と現在の  
具体的な文字・数字の  
「記録」で比べる  
必要があります。

あくあぴあはこう考えます

## 「記憶」より「記録」が大事

昔の記憶や感覚というモノサシで、生き物の増減を「伝えたい」「知りたい」と思ったり、疑問を持つことは日常的にあることでしょう。

しかし、それを計る「記憶」や「感覚」というモノサシは人それぞれで違います。違うモノサシで計った答えは当然バラバラ。どれが正しいのかわかりません。そのため、魚の増減などについては、同じモノサシで計った結果との比較が必要です。

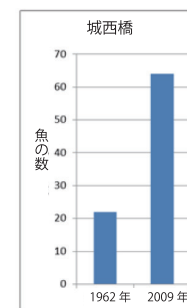
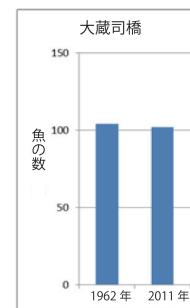
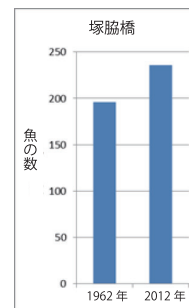
そのモノサシとは、同じ場所で、同じ時期・時間帯に同じ方法で行われた結果に基づく「記録」です。

## 博物館の仕事「記録」

自然系博物館の仕事のひとつに「地域の自然を記録する」ことがあります。それは過去の記録などを収集すると同時に、現状を記録するということに代表されます。

そこで今回、芥川で約50年前(1962年)に行われた調査報告と2010年前後に行った当館での調査データなどをもとに、魚の数を比較しました。場所と時期はほぼ同じ。しかし採集方法に違いがあるので全て同じモノサシにはなりません。その結果はあまり変わっていない、もしくは増えているというものでした。

では、100年前とでは？となると、全くわかりません。芥川の調査報告で公表



され、かつ現存する最も古い記録は50年前のものだからです。





## あくあぴあは 芥川を記録しています



「魚が増えた、減った」という問いに対しては、オオクチバスなどの外来魚が増えてきた、あるいはタナゴ類などが減ってきたなど特定の種類やグループの例を除いて(これすらも十分調査されていないことも多々あります)、十分な回答が出せないのが現状です。それは、特定の河川や水域における「魚の増減」という全体的な「過去の記録」が少ない、もしくは「無い」という実情に基づいています。そのため特定の魚だけではなく全体的な魚の生息状況について調査し続け、それを後世に受け渡せるべき「記録」という形にしておくことが、将来への「増えた？減った？」という問いかけに対する回答に必要不可欠なものと考えています。

あくあぴあでは、現在の記録を残しておくために、研究員が定期的に芥川へ行き、調査を続けています。



魚類調査の風景



記録となる標本

### 芥川で50年以上、見つかっていない魚



ヤリタナゴ



アカザ

目撃情報  
まっています



CASE  
②

記憶からの「思い込み」

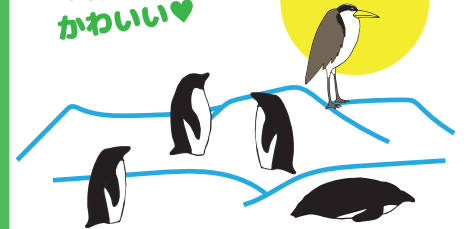
## 大きな鳥やシカにキツネ 動物園にしかいないよね？

きょう どうぶつえん  
今日は動物園へ  
おでかけ



わーい  
ペンギン  
かわいい♡

あれ？



1 2  
3

ペンギンじゃない  
おおきな鳥...  
こんな大きな鳥は  
みちか  
身近にいないもん



オリから  
逃げたんだ！



ほんとうはどうなの？



次のページへ



大きな動物がいるのは  
動物園だけじゃありません。  
よく見てみたら、  
大きな動物や様々な生き物が  
身近にくらしています。

あくあぴあはこう考えます

.....



## 身近にいる意外？な動物



動物園のペンギン舎やアシカ舎で、首の長い大きな鳥を見たことはありませんか？動物園では「オリから逃げた鳥がいる！」と問い合わせが入ることもあるようです。「大きな鳥」はアオサギやゴイサギ、コサギといった水鳥で、飼われているのではなく野生に生きている野鳥です。きっとペンギンやアシカのエサである魚をねらっているのでしょう。

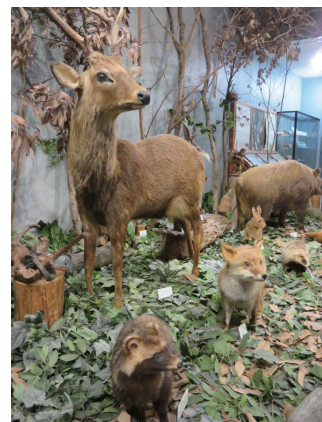
あんなに大きな鳥がオリの外＝街中にいることに驚くかもしれませんが、意外にもこうした生き物は身近に暮らしています。芥川でもよく見ることができます。



アシカ舎で見られるアオサギ



## 高槻にシカ？キツネ？



当館1階展示「ポンポン山」

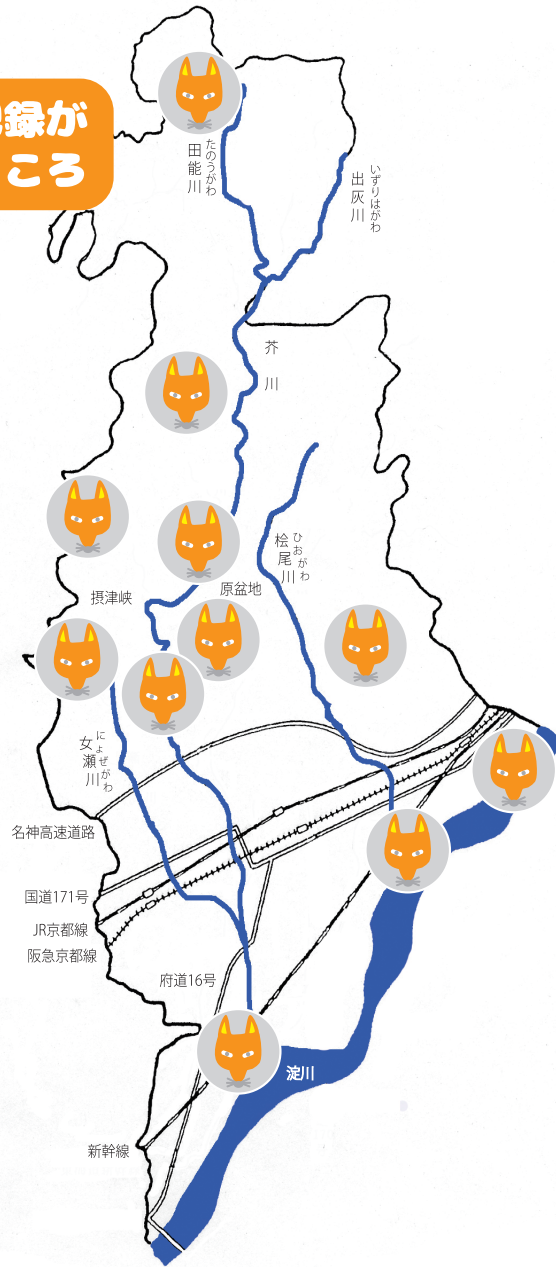
高槻市内にはシカやイノシシ、キツネがすんでいます。ポンポン山にすむシカやイノシシは納得できても、市街地に近いところにすむキツネには驚く人が多いようです。人間の近くにキツネが暮らすイメージがないからでしょうか。

こうした大型の動物がいるということは、そこにエサになる動植物があり、自然が豊かな証拠です。

この世界は、人間だけでなくたくさんの生き物と一緒に共存していることを意識したら、身の回りの自然の見方が変わるでしょう。

高槻市内の

キツネの記録が  
あるところ



あくあびあで記録している標本採集地点・生息確認情報から作成した地図

# うわさのあれこれ ウソ？ホント？

「よく聞くけど、それって本当？」「いいことなのかな？」  
そんなうわさを集めて、あくあびあの考えを紹介します。

外国から来た  
きれいなお花、  
いっぱいになあれ！



ハデなキノコは  
毒がある？



芥川で  
カワウソを  
見ました！！！！



町おこしだ！  
川にいきものを  
放流しよう！



外国から来た  
きれいなお花、  
いっぱいになあれ！



ナガミヒナゲシ



オオキンケイギク



ちょっと待って

5月頃になると、オレンジ色の花をあちこちで見かけませんか？ナガミヒナゲシという植物です。もともとは地中海沿岸から中欧にかけてが原産で、輸入穀物などに紛れて渡来したと推測され、1961年に東京都世田谷区で初めて確認されました。かわいらしいので育て増やしたいと思う人も多いでしょうが、どんどん増えてしまい、もともと日本にある他の植物・微生物・昆虫・動物などに何らかの作用を及ぼす恐れがあります。

同様に、北アメリカ原産のオオキンケイギクやマダガスカル原産のナルトサワギクは、「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律(外来生物法)」で「特定外来生物」に指定されています。

ハデなキノコは  
毒がある？



迷信です

日本には、4000～5000種類のキノコが存在していると言われてはいますが、正確な数は分かっていません。このうち毒キノコか食用キノコか見分けるのは、一種類ずつ特徴を覚えるしかなく、慣れた人でも難しいといえます。安易にさわったり、食べたりしないようにしましょう。ちなみに「縦に裂けるキノコは食べられる」と言われたりもしますが、こちらも迷信です。

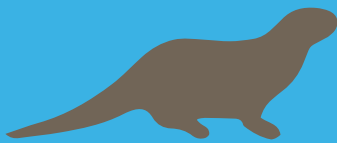


とってもキケンな  
キノコたち

左：ドクツルダケ  
右：テングダケ  
(撮影：佐久間大輔氏)



芥川で  
カワウソを  
見ました！！！！



おそらく

**ヌートリアです**

あくあぴあでは「芥川でカワウソを見た！」という問い合わせをたまに受けることがあります。それはきっとヌートリアでしょう。ヌートリアは南米原産の大きなネズミです。1939～1949年頃、毛皮をとるために日本のあちこちで飼われ、逃げ出したり捨てられたりして野生化しました。植物食で、イネ科植物の葉やヒシの



種子などを食べますが、ドブガイ等の二枚貝をかじることもあるそうです。芥川では2003年頃から目撃例が増えています。ちなみに、芥川にカワウソがいたかどうかは、わかっていません。

町おこしだ！  
川にいきものを  
放流しよう！



**絶対にダメです！**

町おこしの一環で、地域の川にコイや金魚、マスを放流することがあります。一見楽しそうですが、その後その生き物たちはどうなるのでしょうか。そこにいなかった生き物を放流すると、もといた生き物が食べられていなくなったり、交雑して生態系が変わってしまいます。そうすると、地域の自然そのものが変化して、将来的には環境が変わり人間にとってさまざまな問題が起こってくる可能性があります。また目立つ金魚などは、あっという間に鳥のエサになるでしょう。楽しさの先にどんなことが起こるか、立ち止まって考える必要があります。

# みんなのうわさ ウソ？ホント？

あくあびあの来館者が、身の回りの自然に関する疑問を投げかけてくれました。ここでは、その疑問のいくつかと、当館の学芸員・研究員の考えを紹介します。

**ツバメが  
低く飛ぶと  
雨が降るって、  
本当ですか？**

雨の前は湿度が上がリ、昆虫はハネに湿気がついて飛びにくくなり、地面近くを飛ぶようになるらしいです。また水生昆虫の羽化が、雨の前に多くなるようです。そのため、ツバメが低く飛ぶと、雨が降ることもありそうです。

**ツバメが  
軒先に巣を作る  
と家が栄えるっ  
て、本当？**

ツバメは人通りの多い所に巣を作りたがるので、さびれている所からは居なくなります。家やお店が人の活気に溢れているからこそ、ツバメがやってくるのです。

**カラスは  
目が合うと  
おそって  
きますか？**

カラスにとって人間は大きな恐ろしい生き物です。目を合わせるだけでは、おそってきません。(P.10~13参照)

**サギ  
の仲間は  
タウナギなどの  
大きなエサを  
洗って食べる  
の？**

洗っているところは、見たことがありません。捕まえてそのまま食べているようです。

**スズメは悪い鳥  
ですか？**

スズメはコメを食べる害鳥とわれてきました。しかし実は、イネに病気をうつしたり、葉やコメを食べたりする虫を捕まえてくれます。なので、スズメを駆除すると、コメの収穫量が減るというデータがあります。

**鳥は後ろ向きに  
飛べない。**

ほとんどの鳥は、後ろ向きには飛べません。しかし、ハチドリなど、ごく一部の鳥はバックすることができます。

**ニホンアシカが  
絶滅しそうなん  
ですよ**

ニホンアシカは絶滅危惧種 IA類に指定されています。かつては日本全国の沿岸に生息していましたが、明治初期の乱獲や駆除の放置により、19世紀末までにほぼ消滅したとされています。最新の生存記録は、1974年に礼文島で確認されたもので最後です。

**キツネは  
コンコンって  
本当に  
鳴いてるの？**

映像などで確認したところ、「ワンワン」「キャンキャン」「クーン」「ガルルル」と、イヌのように鳴くようです。

**カエルは  
ゲロゲロしか  
鳴けないの？**

カエルは種類によって、鳴き声が変わります。アマガエルは「クワックワック」鳴きますが、ウシガエルは「ウオーウオー」、ダルマガエルは「ギギギギ、ギャーウ」、モリアオガエルは「カララカララ」です。いろいろなカエルの鳴き声を聞いてみてください。

**ミミズにおしっこをかけると、おちんちんが腫れるのは本当？**

「畑を耕す大切な生き物だから、オシッコをかけるようなことはダメ」「土遊びをした後に、おちんちんを触ると雑菌が入って腫れる」「オシッコをかけられたミミズが毒を噴射する」など諸説ありますが、真相は分かりません。

**カミナリが  
鳴った時、  
おへそを取られるのは本当？**

おへそを取られないように姿勢を低くすることが、カミナリよけにつながったと言われていますが、諸説あるようです。

**ハチは人を  
刺したら、  
針がなくなって  
死んでしまう**

ミツバチはその通り、一度刺したら死んでしまいます。しかしアシナガバチやスズメバチなどは、何度刺しても死にません。また全く刺さないハチもあります。種類によって刺す刺さないは、様々です。(P.14～17参照)

**ホタルが  
光るのはオス・メス両方って、本当ですか？**

ゲンジボタル、ヘイケボタル、ヒメボタルはオス・メス両方光ります。一方、オバボタル、クロマドボタル、ムネクイロボタルはオス・メス両方も光りません。少しは光るようですが、光で交信するほどの明るさはなく、人間の目には見えません。

**鳥インフルエンザって、  
人にも感染するんですよね**

人間が鳥インフルエンザに感染する可能性はきわめて低いと言われます。感染した鳥の羽やフンなどを大量に吸い込むと、ごくまれに感染することが報告されていますが、通常の生活ではありえません。また鶏肉や卵を食べて、感染した例は報告されていません。

ありがとうございました  
あくあびあはこれからも皆さんの疑問に対して一緒に考えたり、  
ヒントを探すお手伝いをしたいと思っています。

